

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 459

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ビオトープ改修	1	校	3,129
		遮熱フィルム設置	2	校	6,510
		その他()			369
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	ビオトープの造成を1校、遮熱フィルム設置を2校で実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	13年度の校庭緑化事業(芝生化・ビオトープ整備)着手以降、19・20年度の二次にわたる「エコスクール化検討懇談会」報告を踏まえたエコスクール化に取り組んできました。平成23年度には、小中学校の普通教室にエアコンが設置されたこともあり、エコスクール事業の見直しを行い、平成24年度にその報告(「平成24年度 エコスクール事業検討委員会報告」)がまとまりました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	校庭芝生化については、保護者等から養生期間に校庭が使えないこと等に対する意見・苦情が寄せられています。 また、夏の暑さ対策として、早期に全校でエコスクール化を実現することの要望や、校庭・屋上・壁面緑化の維持管理へのサポート及び予算配分を求める要望が寄せられています。
	今後の予測	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、エコスクールメニューを実施していきます。 東京芝生宣言に基づき、全校の校庭一部芝生化を目指します。
評価と課題	<p>これまでエコスクールの整備は大別すると「みどりの創出」と「建物自体の工夫」を適切に組み合わせで行ってきました。</p> <p>「エコスクール事業検討委員会報告」により、本事業は学校の緑化や環境負荷を抑制しつつ学習環境の整備を行ない、学習環境が大きく改善されたと評価されています。</p> <p>今後は、「みどりの創出」は環境改善や教育効果も高く、推進していくことが求められています。</p> <p>また、「建物自体の工夫」は、エネルギー使用量を抑え、高気密・高断熱と自然通風に配慮した省エネ施設にすることが重要であると考えます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、今後の事業を次のとおり実施します。</p> <p>「みどりの創出」のうち、校庭緑化については、環境改善や教育的効果も高く、また、地域コミュニティの形成に役立つことから今後も引き続き、地域・保護者の協力のもと進めていくとともに、屋上・壁面緑化、ビオトープについても環境学習の面で重要であり、施設形態を踏まえ進めていきます。</p> <p>「建物自体の工夫」については、設置されたエアコンに係る電気やガスの使用量を抑え、より効果的に活用していくため、高気密・高断熱化と自然通風に配慮した「省エネ施設」に重点を置いて、これまでのエコスクールメニューを再整理して進めます。</p> <p>特に、地中熱を使ったクールヒートレンチについては、省エネルギーの観点からは有効であるが、複雑なシステムの管理・運用にはきめ細かな対応が必要なことや費用対効果の面などから、今後、新たに設置しないこととします。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 459

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。		
	対象計画事業名			<input type="checkbox"/> 重点事業
				<input type="checkbox"/> 重点事業
	実行計画細事業に対する取組内容			
特記事項				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		情報教育の推進②		款	7	項	1	目	3	事業	3	整理番号	470
担当部課名		教育委員会事務局庶務課		係名	学校ICT推進 担当		連絡先 電話番号	1608		昨年度 整理番号	480		
上位施策No・施策名		27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	2	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画 事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員		内部管理		根拠法令等		(1)	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(平成12年)・新たな情報通信技術戦略(平成22年)			
					施設維持管理				(2)	教育の情報化ビジョン(平成22年文部科学省)			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		校務のICT活用促進とともに、授業におけるICT環境整備を進め、ICT活用による、児童生徒の学力と情報活用能力の向上を図る。		活動指標名(式)		(1)		教職員用パソコンの配備台数				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○教職員用校務パソコンの配備及び同システムの維持管理 ○教育用パソコン(パソコン教室、教室用パソコン、学校図書館用パソコン)の維持管理		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数			
				算定式・指標の説明等		校務システム用クライアントパソコン(校別パソコン)の配備台数		成果指標名(2)		教育用パソコン1台当たりの児童生徒数			
				算定式・指標の説明等		小中児童生徒数÷全教育用パソコン台数							
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)		1	台	1,924	1,924	1,974	1,974	1,974	100.0			
	活動指標(2)		2	人	6	6	5.6	6.0	5.4	5.5	90.0		
	成果指標(1)		3	台	1,924	1,924	1,974	1,974	1,974	1,974	100.0		
	成果指標(2)		4	人	6	6	5.6	6.0	5.4	5.5	90.0		
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	388,322	400,229	399,876	547,636	540,231	585,078	24年度予算執行率(%) 98.6		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・総事業費・コスト把握の項については、No469情報教育の推進①を含みます。		
	(内)委託費		7	千円	80,198	93,667	93,654	150,765	147,223	88,201			
	職員数	常勤職員数		8	人	2.18	1.80	2.40	2.00	2.62			2.00
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.00			0.00
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	19,446	16,020	21,360	17,400	22,794			17,400
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0			0
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0			0
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	407,768	416,249	421,236	565,036	563,025	602,478			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	211,938	216,346	213,392	286,239	285,220	305,207			
	財源	受益者負担分		16	千円								
		国からの補助金等		17	千円								
都からの補助金等		18	千円										
その他の補助金等		19	千円										
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(14-20)		21	千円	407,768	416,249	421,236	565,036	563,025	602,478				
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 470

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		校務システム用機器賃借、教育用機器賃借			
		校務システム保守委託、基幹アプリ「スクールオフィス」カスタマイズ			129,336
		校務システム用専用ネットワーク網等通信費			16,680
		その他(図書館システム使用料、インターネット接続費 ほか)			4,180
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	校務システムの基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務処理を、全校で開始しました。また、実際の運用により、校務システムを使用した校務処理について、教員の理解と意識が高まりました。通知表の様式変更や機能カスタマイズを施し、業務に則したシステムに改良することができました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	H2: 中学校11校コンピュータ教室設置 / H13: 全校でネット接続環境整備 / H17: 校務システムと図書館システムのモデル校導入 / H18: 中学校教室ネット接続回線架設 / H19: 小学校教室ネット接続回線架設・全校図書館システム導入・全校教室パソコン配備・全校教職員校務パソコン配備 / H20: 校務システムサーバを設置し校務パソコンをクライアントとしたネットワークを構築。基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務システムを稼動 / H24: 校務システム更新及び新学習指導要領に基づくシステム改修の実施			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小、中学校PTA協議会から、電子黒板などの全教室設置など、教室のICT環境の充実に関する要望が提出されています。			
	今後の予測	○ 少人数授業による教員の増加や中学における講師や補助教員などの増加などと、常勤教師と同等の校務従事環境整備が必要となっており、今後の校務システムの規模拡大の必要が見込まれます。また、教員のインターネット利用環境の拡充等による情報収集環境の整備も今後ますます必要となってきます。 ○ 視聴覚系コンテンツが中心となるデジタル教材の増加やICT機器を活用した授業スキルの開発により、更なる授業用ICT機器の需要が増加します。			
	評価と課題	全校で校務システムを使った時数管理や成績管理が行われ、システムによる業務処理方法の整備と標準化が必要となっています。また、利用目的拡大と制度改正にともない、システム改修の必要性が高まっています。 パソコンは常勤教員に1台、生徒5.6人に1台程度を行き渡らせることができました。今後は、書画カメラや拡大投影機などのICT関連機器の拡充と、一層の利用者のスキル向上と、有用なデジタル教材の整備により、一般教科への幅広い活用に対応できるようにしていくことが課題となっています。			
改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他		
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し
		○校務システムを活用し、校務の効率化を進める端緒を確立することができました。今後は業務処理方法とシステムとの親和性を整理、改善し、現場での定着を促進し、教員の校務への負担を軽減し、授業展開に一層注力できる環境整備に努めます。 ○時代に即したICT環境を整備することで、教員の情報収集及び発信を効率化し、そのスキルの継続的向上を図るため、教員用パソコンでのインターネット利用、外部メールの取り扱い拡充を検討していきます。 ○ICTを活用した授業への取組みを促し、理解と意識の向上を図るとともに、求められる知識と技能を向上させるための仕組みを整えていきます。 ○ICTを活用した授業実施の核となるパソコンの整備は、当面の目標を達成することができました。今後は、これらを魅せる授業に活かし、より正確で実働的な資料を生徒に提供し、通常科目授業内で幅広く活用できるよう、投影装置やデジタル教材の整備と規格の平準化を検討していきます。			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 470

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名			<input type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
特記事項	改築・統合にともなう小・中一貫校の設立は、杉並区にとってはじめての試みであり、新しい教育環境の創造が求められます。従来より、より一歩「教育の情報化ビジョン」に沿って踏み込んだICT機器類の整備の検討を行っていく必要があるものと考えます。				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		通学路の設置管理		款	7	項	1	目	3	事業	4	整理番号	471		
担当部課名		教育委員会事務局学務課		係名	学事係			連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	481			
上位施策No・施策名		27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分				既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/>	計画事業		<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区立小学校児童			内部管理		根拠法令等		(1) 交通安全対策基本法第4条 (2) 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、同施行令						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○児童を交通事故や犯罪から守り、登下校並びに地域の中での安全を実現する。			活動指標名(式)		(1) 通学路標識の取替え組数 (2) 通学路交通規制標示板(バリケード)の配布数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○安全性が高いと判断される道路を、登下校に適した通学路として設定している。 ○東京電力の電柱に通学路であることを示す「文」標識を取付け、安全に通行してもらうよう周知している。 ○バリケードを学校へ配付し、スクールゾーンに設置している。 ○子ども安全ボランティア活動の支援や学校安全マップの作成を行っている。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 登下校時に交通事故に遭った児童数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 子ども安全ボランティア数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	組	537	700	682	900	879	1,359	97.7					
	活動指標(2)	2	基	9	9	10	10	10	10	100.0					
	成果指標(1)	3	人	3	0	20	0	10	0						
	成果指標(2)	4	人	11,659	12,000	11,601	12,000	11,523	12,000	96.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,849	3,665	3,282	5,001	4,672	6,714	24年度予算執行率(%) 93.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成24年度は、相次ぐ登下校時の交通事故を受け、全国一斉に通学路の緊急合同点検を行い、杉並区でも全区立小学校を対象に実施しました。					
	(内)委託費	7	千円	1,581	2,075	2,005	3,549	3,408	5,284						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.45	0.45	0.47	0.44	0.62				0.45		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.00		
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00				0.00		
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	4,014	4,005	4,183	3,828	5,394				3,915		
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0				0		
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0				0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,863	7,670	7,465	8,829	10,066	10,629						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	12,780	10,957	10,946	9,810	11,452	7,821						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0				0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0				0		
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	6,863	7,670	7,465	8,829	10,066	10,629						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 471

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		通学路標識の取替(委託等)	879	組	3,165
		学校安全マップの作成	28,737	枚	854
		スクールゾーン標示板(バリケード)の作成(委託等)	10	基	126
		子ども安全ボランティア傷害保険料の支出			121
		その他(通学路線図の作成)			406
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	児童の登下校中の安全確保は、保護者にとって関心が高い事柄の一つです。平成24年度は、登下校中の児童等が多数犠牲となった、痛ましい交通事故が相次いで発生したことを受け、文部科学省、国土交通省、警察庁が連携し、全国で通学路における交通安全の確保に取り組むこととなりました。杉並区でも、杉並土木事務所や3警察署と連携して全区立小学校を対象とした緊急合同点検を行い、必要な対策を検討・実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に社会問題化したモータリゼーションによる交通事故の増大により、児童の安全確保のため、通学路の設定・整備や交通規制といった対策を講じてきました。しかし最近では、住宅地の抜け道を走る自動車や、歩道を疾走する自転車の交通マナー低下による危険性も問題化しており、通学路の安全対策が大きな課題となっています。 また、ここ数年は、児童連れ去り等防犯上の安全確保へも通学路の安全対策の視点が広がっているほか、一昨年の震災以降は、災害時の安全確保についても関心が高まっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学路の安全確保だけでなく、災害時や防犯に対する要望も増加しています。これまで以上に警察等をはじめ、交通対策課や危機管理対策課等さらに幅広いセクションとの連携による対応が求められています。 昨年、相次いで発生した登下校中の通学路での交通事故報道を受け、保護者や地域住民から安全確保に対する取り組みについての要望が増えています。
	今後の予測	近年は交通規制中の道路に進入する自動車や、児童の脇を疾走する自転車等の交通マナーの低下によるトラブルが多発しており、有効な対策の検討が求められています。全国的にも登下校中の交通事故が相次いで発生している中、通学路上の安全の確保については保護者だけでなく、近隣住民からの関心も高まっており、区の関係各課だけでなく、地域住民や警察等とこれまで以上に連携して策を講じていく必要があります。
	評価と課題	全校で実施した通学路における緊急合同点検では、普段から危険と感じている箇所に対して、杉並土木事務所や警察とも連携して具体的な対策を検討・実施することができました。これで終わりせず、今回の点検結果を「学校安全マップ」作成等に活かすことで、全児童や保護者、地域住民が危険箇所に関して共通で認識し、今後も安全確保に向けて取り組んでいくことが期待されます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	義務教育に対するニーズは学校内だけではなく、通学路や生活習慣等、様々な面に期待が大きくなっています。交通安全対策から始まった通学路の安全確保についても、社会情勢の変化により、防犯や災害時の対策にも視点が広がり、多角的なアプローチによる対策が求められています。24年度に実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、交通事故や連れ去り等を防止するため、関係各課・機関との調整及び連携強化により、従来からのハード面を中心とした対策に加え、ソフト面での施策を充実させて、様々な課題に対応していくことが求められています。		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 471

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。		
	対象計画事業名			<input type="checkbox"/> 重点事業
				<input type="checkbox"/> 重点事業
	実行計画細事業に対する取組内容			
特記事項				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		学校支援教職員②		款	7	項	1	目	3	事業	15	整理番号	484					
担当部課名		教育委員会事務局教育人事企画課		係名	教育人事係		連絡先電話番号		1654		昨年度整理番号	484						
上位施策No・施策名		27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業												
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	21	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		5	施策	27	計画事業	3	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		杉並区立小・中学校の児童・生徒		内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例		(2) 杉並区教育委員会非常勤職員規則							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備することにより、子どもたちの活発な読書活動を推進します。		活動指標名(式)		(1) 学校司書配置校数		(2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○学校図書館の運営体制の充実・強化を図り、学校の経営力・教育力を高めていくため、区立小・中学校に学校司書を配置する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		(代)学校司書配置校数		算定式・指標の説明等					
				成果指標名(2)		算定式・指標の説明等												
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)		1	校	22	44	44	66	66	65	100.0							
	活動指標(2)		2															
	成果指標(1)		3	校	22	44	44	66	66	65	100.0							
	成果指標(2)		4															
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	22,148	47,502	45,292	96,075	90,194	142,948	24年度予算執行率(%)		93.9					
	(内)投資的経費等		6	千円							特記事項 平成22年度から24年度までは、緊急雇用創出臨時特例交付金の補助を受け、雇用配置を行いました。平成22年度は、全雇用者22名のうち11名分を、平成23年度は、全雇用者44名のうち22名分を、平成24年度は、全雇用者66名のうち22名分を、緊急雇用創出臨時特例交付金の補助を受け配置しました。 平成25年度は、全て当該事業費により学校司書の雇用配置を行います。 また、配置校数の減は、永福小と永福南小の統廃合によるものです。							
	(内)委託費		7	千円														
	職員数	常勤職員数		8	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50								
		再任用職員数		9	人													
		非常勤職員数		10	人													
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	13,380	13,350	13,350	13,050	13,050					13,050			
		(内)再任用職員分		12	千円				0	0					0			
		(内)非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0					0			
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	35,528	60,852	58,642	109,125	103,244	155,998								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,614,909	1,383,000	1,332,773	1,653,409	1,564,303	2,399,969								
	財源	受益者負担分		16	千円													
		国からの補助金等		17	千円													
		都からの補助金等		18	千円													
その他の補助金等		19	千円															
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	35,528	60,852	58,642	109,125	103,244	155,998									
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 484

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)		
		(1)主な取組み	学校司書に対する報酬・旅費	44	人	90,194
		その他()				0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	当該事業費により44名の学校司書を配置し、さらに、緊急雇用創出臨時特例交付金事業を活用して、平成24年6月から新たに22校に配置することにより、小・中学校全校に学校司書を配置しました。また、このことにより、「読書センター」、「学習・情報センター」としての学校図書館運営機能の充実を小・中学校全校で図ることができました。					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校図書館の充実のため、平成21年度から学校司書の配置を開始しました。平成24年度は、平成23年度までに配置した44校に加え、6月から新たに22校に配置することにより、小・中学校全校に学校司書を配置しました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小・中学校全校への学校司書の配置により、学校図書館の活用・整備が図られています。継続した学校司書の配置を児童・生徒、保護者及び学校から求められています。		
	今後の予測	平成24年度に学校司書を小・中学校全校に配置しました。今後も引き続き、全校への配置が必要です。		
評価と課題	学校司書を区立小・中学校全校に配置することにより、学校図書館の整備・充実が図られています。配置校では児童・生徒の図書の間貸出冊数が、確実に増加しています。今後は、済美教育センター学校図書館サポートデスクと連携し、各校で学校司書と教員やボランティアが機能的に連携を図ることができる体制の確立が必要です。また、これまでの配置校の拡大に伴う人材の確保に加え、全校配置に伴う人材の育成に取り組めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	学校図書館の子どもたちの読書習慣を培う「読書センター」及び学習活動を支える「学習・情報センター」としての機能をより一層充実させる観点から、済美教育センター学校図書館サポートデスクと連携し、学校司書が教員や地域のボランティアと連携を図った学校図書館の運営体制づくりや、継続的な学校司書への研修体制づくりを推進することにより、学校司書の配置の成果を高めていくことが必要です。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 484

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。		
	対象計画事業名	3	学校図書館の充実	<input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 重点事業
	実行計画細事業に対する取組内容			
	平成24年6月から新たに22校に配置することにより、小中学校全校に学校司書を配置しました。 平成24年度に11回、中央図書館、済美教育センター学校図書館サポートデスク及び教育人事企画課の職員による情報連絡会を実施し、学校司書の状況及びその業務内容に係る情報共有を図りました。 学校司書を新規に配置した学校及び異動のあった学校を中心に訪問を行い、学校司書の状況把握に努めました。			
特記事項	(This area is currently blank in the provided image.)			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 490

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		機械警備業務委託	32	校	20,191
		機械設備保守点検業務委託(全館空調校)	5	校	8,558
		散水設備保守点検業務委託	1	校	6,991
		昇降機保守点検業務委託	8	校	6,883
	その他(設備の保守委託ほか)				46,202
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	引き続き機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安心安全の強化に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者との協働が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 490

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	①安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ②学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会・仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が盛んになっています。	
	対象計画事業名		<input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 重点事業
実行計画細事業に対する取組内容			
特記事項			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 498

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単 位	事業費(千円)
		杉並第九小学校校舎外壁補修工事			54,804
高井戸第四小学校校舎外壁補修工事			38,804		
西田小学校校舎内装工事			48,404		
桃井第一小学校校舎内装工事			55,122		
その他(桃井第三小学校屋上防水工事 ほか)			266,098		
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	学校における良好な教育環境の維持・向上をはかるため、区の実行計画に基づき実施しました。具体的には、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、屋内運動場床改修工事、給食室改修工事、照明設備改修工事、受変電設備取替工事等を行いました。改築時期を見極めながら効果的な改修を行えるよう調整を図り工事を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度以降、耐震改修事業が本事業から分離され別事業になりました。学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路(二項道路)のセットバック、校庭の土埃対策、工事騒音対策等が求められています。			
	今後の予測	今後、建物の耐用年数(およそ50年)を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。			
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修、改善に取り組み、24年度においても良好な教育環境の維持に努めました。今後とも、社会情勢の変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
	II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在以上のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数(およそ50年)を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。多額の費用をかけて改修し、数年後に改築のため取壊す等の無駄を生じさせないよう、学校適正配置計画等との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 498

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	2	学校教育環境の整備・充実	<input type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	小中学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため大規模改修を始めとした、施設・設備の整備に取組みました。				
特記事項					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 499

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
			工事監理委託			14,662
			既存校舎解体工事			65,647
			改築工事(建築・電気・機械設備・昇降機設備)			668,932
			仮設校舎賃借料	12	月	188,370
		その他(境界確定委託、仮設運動場賃借料 外)			45,791	
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成24年5月に近隣住民を対象に旧校舎解体工事説明会を開催し、既存校舎・体育館の解体を実施しました。その後、7月に新校舎建設工事説明会を開催し改築工事に着手しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近隣住民を対象に改築計画の説明会等を開催するなど、情報提供や意見・要望の聴取を細やかに行うことにより、住民の改築事業に対する理解が進んでいます。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	解体・建設など一連の工事の実施に伴い、振動・騒音及び工事車両の運行等について、苦情がありました。また、既存樹木の取り扱い、植樹についての要望がありました。
	今後の予測	近隣住民との相互理解を深めながら円滑に進めてきたことにより、地域で親しまれ育てられる学校となっていくことが予測されます。ただし、今後、新たな近隣からの要望・苦情が寄せられることも想定されるため、迅速な対応と学校への継続的なバックアップが必要となります。
	評価と課題	良好な教育環境確保と近隣住民の生活環境への配慮の両立のため、可能な限り要望・意見を反映させた実施設計を完了させました。また、先行実施の既存プール解体工事を安全・円滑に行うとともに、新校舎建設期間中に児童が安心して学校生活を送るための仮設校舎を年度内に完成することができました。今後、工事期間中の代替運動場など学校運営へのサポートや近隣住民への適切な対応とともに、工事関係者等と密接に連携して改築事業を進めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ● 対象の見直し
	<p>これまでの改築事業は、耐震化を主としたものとなっています。</p> <p>平成23年度の高井戸第二小学校仮設校舎竣工をもって一連の区立小中学校施設の耐震化事業は完了し、今後は増加していく老朽改築の事業計画を検討していく必要があります。併せて、近年の校舎建設では設置協議会等の幅広い意見を取り入れ建設を進めていることもあり、施設規模が拡大し、既存校との乖離が生じています。このため、建設コストの抑制と良好な学習環境の創出との整合及び、施設規模の適正化について検討する必要があります。</p> <p>今後、校舎老朽化に伴う改築につきましては、財政負担の平準化を目的とした、老朽改築計画を策定するとともに、策定にあたっては、新しい学校づくり推進基本方針及び、(仮称)施設再編整備計画との整合も図っていきます。</p> <p>なお、耐震改築に伴う、高井戸第二小学校の改築事業は、実施設計に基づき建築工事に着手しており、事業コストの方向性については現状維持とし、今後の方向性については、耐震化改築から老朽化改築へ対象が変わります。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 499

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。		
	対象計画事業名	1	区立小中学校の改築	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 重点事業
	実行計画細事業に対する取組内容			
	既存校舎・体育館の解体を実施し、改築工事に着手しました。			
	(仮称)宮前第二学童クラブを新校舎内に併設します(所管は保健福祉部児童青少年課)。本評価表に掲げる事業費には、同学童クラブ建設にかかる工事費等は含まれません。			
特記事項				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 500

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		新屋内運動場棟建設工事(建築・電気・機械設備・昇降機等)			
		工事監理委託			10,563
		初度消耗品			18,156
		初度備品費			21,175
		その他(備品搬出ほか)			5,292
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成25年4月の永福南小学校と永福小学校の学校統合のための施設整備事業として、平成23年度から引き続き、新屋内運動場棟の建設工事を実施しました。また、平成25年4月6日には開校式を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	教育委員会ホームページへの掲載や近隣へのニュース紙配付等による統合計画の情報提供により、住民の事業に対する理解が進んでいます。一方、統合後の施設内容及び工事の概要を住民説明会等で周知することに伴い、個別の事情等による対応を必要とする地域住民の存在が把握できるようになりました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	児童の良好な学習環境の向上を目指した統合後の施設整備計画の内容については、概ね地域住民の理解をいただいています。一方で、学校敷地はかなり隣接している住宅も多く、そうした住民の一部から、工事に伴う騒音・振動・粉塵等による生活環境の悪化に対する懸念と対策への強い要望が出されました。
	今後の予測	一連の工事について、近隣住民との相互理解を深めながら円滑に進めたことにより、地域で親しまれ育てられる学校となっていくことが予測されます。ただし、今後も近隣からの要望・苦情が寄せられることも想定されるため、迅速な対応と学校への継続的なバックアップが必要となります。
	評価と課題	工事に不安を抱える近隣住民の苦情や要望に対し、可能な限り振動・騒音等の負担軽減を図るなど適切かつ誠実に対処しながら、工程どおり工事を進めることができました。今後、引き続き工事関係者等と一層の連携強化を図りながら平成25年夏季の既存校舎の改修工事を実施します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	○ 現 状 維 持	○ 縮 小	● その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	● 対象の見直し	
	<p>近年の校舎建設では設置協議会等の幅広い意見を取り入れ建設を進めていることもあり、施設規模が拡大し、既存校との乖離が生じています。このため、建設コストの抑制と良好な学習環境の創出との整合及び、施設規模の適正化について検討する必要があります。今後、統合校の施設整備に伴う改築につきましては、老朽改築校が急増することから、財政負担の平準化を目的とした、老朽改築計画を策定するとともに、新しい学校づくり推進基本方針及び、(仮称)施設再編整備計画との整合も図っていきます。</p> <p>なお、統合校の施設整備事業による永福小学校屋内運動場棟の建設工事は、平成25年度の既存校舎改修で終了します。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 500

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	1	区立小中学校の改築	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	平成25年度、永福小学校新屋内運動場棟建設工事が竣工しました。				
	(This area is currently blank for additional implementation details.)				
特記事項	(This area is currently blank for special notes.)				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 501

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		実施設計委託			
		耐力度、アスベスト、土質調査委託			2,730
		仮設構台使用負担金			3,041
		構造計算適合判定			122
		その他(設計事務費等)			87
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の地域の関係者や学校関係者等で構成する小中一貫教育校設置協議会で検討し、決定した施設整備についての基本計画の内容を踏まえ、新校舎の実施計画を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
		学校適正配置検討対象校である新泉小と近接する和泉小・中の3校は、数年前から独自に将来の小中一貫教育を目指した取り組みを進めてきました。その後、学校関係者に3校の統合及び小中一貫教育を行うことの意義や内容等についての理解が進んだ結果、平成22年度に設置計画を策定し、設置協議会による具体的な計画検討を通じて、地域住民等の計画に対する理解が深まりました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしながら計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識のさらなる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されています。
	今後の予測	平成25年度、切回し工事、和泉小学校のプール解体、小学校棟の改築工事及び、新泉小学校の改修工事を着手し、平成26年度には和泉中学校を新泉小学校内に仮移動して、その間、小学校棟の改築工事、中学校棟の改修工事を行ない、平成27年4月から小中一貫校がスタートします。新しい校舎が完成し小中一貫教育活動が行われていく中で、今後の一貫教育推進のモデル校としての役割が期待されるようになります。ただし、工事終了後も近隣からの要望・苦情が寄せられることも想定されるため、迅速な対応と学校への継続的なバックアップが必要となります。
	評価と課題	和泉中学校既存校舎改修期間中(平成26年度)に同校生徒を新泉小学校で暫定的に受け入れるための同校校舎の改修について、小中学校それぞれの授業等に支障が生じないように、慎重に準備を進めます。また、工事期間中(平成25～26年度)の暫定運動場として、日本大学鶴ヶ丘高等学校のグラウンドを賃借するとともに、旧永福南小学校を活用して授業、クラブ活動等に支障が生じないように準備を進めていきます。 また、和泉小学校の既存の校庭芝生についても、有効活用する方向で検討していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
			II 事業の方向性
	<p>近年の校舎建設では設置協議会や住民等の幅広い意見を取り入れ建設を進めており、施設規模が肥大化し、既存校との乖離が生じています。このため、建設コストの抑制と良好な学習環境の創出との整合及び、施設規模の適正化について検討する必要があります。今後、施設整備に伴う改築につきましては、老朽改築校が急増することから、財政負担の平準化を目的とした、老朽改築計画を策定するとともに、新しい学校づくり推進基本方針及び、(仮称)施設再編整備計画との整合も図っていきます。</p> <p>なお、小中一貫校の施設整備事業に伴う、新泉・和泉地区小中一貫教育校の改築については、実施設計が完了しており、建設工事契約も締結しており、事業コストの方向性については現状維持となります。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 501

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	1	区立小中学校の改築	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	小中一貫教育校設置協議会で検討した基本計画を踏まえ基本設計を基に実施計画を行ないました。				
特記事項					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 504

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		機械警備業務委託	20	校	12,811
		機械設備保守点検業務委託(全館空調校)	2	校	4,620
		昇降機保守点検業務委託	9	校	7,787
		その他(設備の保守委託ほか)			9,004
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	引き続き機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安心安全の強化に努めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者との協働が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 504

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27 学校教育環境の整備・充実	
	施策の目標	①安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ②学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会・仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が盛んになっています。	
	対象計画事業名		<input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 重点事業
実行計画細事業に対する取組内容			
特記事項			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 510

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		天沼中学校雨水流出制御対策工事			45,335
		中瀬中学校校舎屋上防水改修工事			30,975
		松ノ木中学校校舎屋上防水改修工			33,180
		富士見丘中学校給食室改修工事			84,989
		その他(中瀬中学校プール改修工事 ほか)			80,082
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)		学校における良好な教育環境の維持・向上をはかるため、区の実施計画の学校教育施設の整備計画に基づき実施しました。具体的には、校舎屋上防水工事、雨水流出制御対策、屋内運動場床改修工事、給食室改修工事、照明設備改修工事、自動火災報知設備改修工事等を行いました。改築時期を見極めながら効果的な改修を行えるよう調整を図り工事を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度以降、耐震改修事業が本事業から分離され別事業になりました。学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路(二項道路)のセットバック、校庭の土埃対策、工事騒音対策等が求められています。
	今後の予測	今後、建物の耐用年数(およそ50年)を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。
評価と課題		施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修、改善に取り組み、24年度においても良好な教育環境の維持に努めました。今後とも、社会情勢の変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在以上のローテーションで改修を行う必要があります。一方、建物の耐用年数(およそ50年)を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。多額の費用をかけて改修し、数年後に改築のため取壊す等の無駄を生じさせないよう、学校適正配置計画等との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 510

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	2	学校教育環境の整備・充実	<input type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	小中学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため大規模改修を始めとした、施設・設備の整備に取り組みました。				
特記事項					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		井草中学校の改築			款	7	項	3	目	3	事業	3	整理番号	511		
担当部課名		教育委員会事務局学校整備課			係名	教育施設計画係		連絡先電話番号		1684		昨年度整理番号	516			
上位施策No・施策名		27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分		投資事業									
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		5	施策	27	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		井草中学校生徒・教職員及び学校利用者			内部管理		施設維持管理		根拠(1) 学校教育法第5条 等 (2) 地方自治法第180条の2						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○学校の改築工事を実施することにより、地震に対する安全性及び教育環境の向上を図ります。			活動指標名(式)		(1) 建設工事進捗率 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○20年度 校舎改築検討協議会設置、基本設計作成 ○21年度 実施設計作成、仮設校舎建設工事 ○22年度 既存校舎・プール等解体工事 ○22年度～23年度 新校舎(北側校舎棟)・屋内運動場建設工事 ○23年度 旧屋内運動場解体工事 ○23～24年度 新校舎(南側校舎棟)建設工事 ○24年度 仮設校舎解体工事、校庭整備工事			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区立中学校の耐震化率 算定式・指標の説明等 中学校全棟のうち、昭和56年以前の旧耐震基準建物で耐震性がある棟、耐震補強済の棟、昭和57年以降建築の棟の割合 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	%	8.7	87.4	87.4	100.0	100.0	0.0	100.0					
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%	97.9	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	868,395	2,401,901	2,400,151	533,746	527,051	0	24年度予算執行率(%)		98.7			
	(内)投資的経費等		6	千円	868,395	2,401,901	2,400,151	533,746	527,051	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	758,312	2,151,713	2,151,557	468,545	463,176	0						
	職員数	常勤職員数		8	人	0.80	1.00	1.00	0.80	0.94	0.00	○H22予算…建設工事着手による事業費増 ○H23予算…建設工事出来高増による事業費増 ○H24予算…建設工事出来高増による事業費減 ○債務負担行為 ・井草中学校の改築…限度額2,548,000千円(H23～24) ・井草中学校の改築(仮設校舎賃借)…限度額384,000千円(H23～24)				
		再任用職員数		9	人				0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0	0	0					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	7,136	8,900	8,900	6,960	8,178	0					
		(内)再任用職員分		12	千円				0	0	0					
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	875,531	2,410,801	2,409,051	540,706	535,229	0						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	820,230	101,831	101,831	69,600	81,780							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	104,627	329,612	337,171	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	104,627	329,612	337,171	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	770,904	2,081,189	2,071,880	540,706	535,229	0							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 511

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		仮設校舎賃借料	5	月	45,623
		新校舎建設工事(建築、電気、機械設備、環境整備等)			443,168
		工事管理委託			13,850
		初度備品			10,394
		その他(初度消耗品、備品搬出、パンフレット印刷ほか)			14,016
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	特別支援学級棟の建設が竣工し、仮設校舎の解体及び校庭整備を実施し、井草中学校の耐震改築工事は完了しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年7月～21年1月 改築検討協議会を延べ8回開催 ・平成20年度、基本設計 ・平成21年度、実施設計、仮設校舎建設(平成22年3月しゅん功) ・平成22年度5月～9月 既存校舎、プール解体 ・平成22年10月 新校舎A・B棟、新屋内運動場工事着手 ・平成23年度 既存体育館解体、新屋内運動場しゅん功、新校舎A・B棟しゅん功、新校舎C棟工事着手 ・平成24年度 新校舎C棟しゅん功、仮設校舎解体、外構工事完了
事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近隣住民から、プライバシーや騒音の低減に十分配慮するよう要望・苦情がありました。	
今後の予測	4か年度にわたる一連の工事について、近隣住民との相互理解を深めながら円滑に進めたことにより、地域で親しまれ育てられる学校となっていくことが予測されます。	
評価と課題	平成23年3月の東日本大震災に起因する工程の一部変更や災害復旧対応を行いながら、工事用資材の円滑な調達を行い、屋内運動場、新校舎A・B棟、新校舎C棟及び校庭整備が完了し、4か年にわたる長期間の工事が無事に完了し、素晴らしい学校校舎が出来ました。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ● その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
<p>近年の校舎建設では設置協議会等の幅広い意見を取り入れ建設を進めていることもあり、施設規模が拡大し、既存校との乖離が生じています。このため、建設コストの抑制と良好な学習環境の創出との整合及び、施設規模の適正化について検討する必要があります。今後、老朽改築校が急増することから、財政負担の平準化を目的とした、老朽改築計画を策定するとともに、新しい学校づくり推進基本方針及び、(仮称)施設再編整備計画との整合も図っていきます。</p> <p>なお、井草中学校の改築事業については、新校舎C棟しゅん功、仮設校舎解体、外構工事完了をもって平成24年度で終了となります。</p>			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 511

施策の概要（具体的な取組内容）	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	1	区立小中学校の改築	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	平成24年度、南側校舎棟(特別支援学級等)の建設工事、仮設校舎撤去及び、外構工事がしゅん功して、全ての工事が終了しました。				
平成24年11月6日、井草中学校落成式を開催しました。					
特記事項					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 512

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計委託	1	式	38,739
		耐力度、アスベスト、土質調査委託	1	式	2,730
		仮設構台使用負担金	1	式	3,041
		構造計算適合判定	1	式	122
		その他(設計事務費等)	87		
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の地域の関係者や学校関係者等で構成する小中一貫教育校設置協議会で検討し、決定した施設整備についての基本計画を踏まえ、新校舎の実施設計を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校適正配置検討対象校である新泉小と近接する和泉小・中の3校は、数年前から独自に将来の小中一貫教育を目指した取り組みを進めてきました。その後、学校関係者に3校の統合及び小中一貫教育を行うことの意義や内容等についての理解が進んだ結果、平成22年度に設置計画を策定し、設置協議会による具体的な計画検討を通じて、地域住民等の計画に対する理解が深まりました。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしながらか計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識のさらなる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されています。			
	今後の予測	平成25年度、切回し工事、和泉小学校のプール解体、小学校棟の改築工事及び、新泉小学校の改修工事を着手し、平成26年度には和泉中学校を新泉小学校内に仮移動して、その間、小学校棟の改築工事、中学校棟の改修工事を行ない、平成27年4月から小中一貫校がスタートします。新しい校舎が完成し小中一貫教育活動が行われていく中で、今後の一貫教育推進のモデル校としての役割が期待されるようになります。ただし、工事終了後も近隣からの要望・苦情が寄せられることも想定されるため、迅速な対応と学校への継続的なバックアップが必要となります。			
	評価と課題	和泉中学校既存校舎改修期間中(平成26年度)に同校生徒を新泉小学校で暫定的に受け入れるための同校校舎の改修について、小中学校それぞれの授業等に支障が生じないように、慎重に準備を進めます。また、工事期間中(平成25～26年度)の暫定運動場として、日本大学鶴ヶ丘高等学校のグラウンドを賃借するとともに、旧永福南小学校を活用して授業、クラブ活動等に支障が生じないように準備を進めていきます。 また、和泉小学校の既存の校庭芝生についても、有効活用する方向で検討していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
<p>近年の校舎建設では設置協議会や住民等の幅広い意見を取り入れ建設を進めており、施設規模が肥大化し、既存校との乖離が生じています。このため、建設コストの抑制と良好な学習環境の創出との整合及び、施設規模の適正化について検討する必要があります。今後、施設整備に伴う改築につきましては、老朽改築校が急増することから、財政負担の平準化を目的とした、老朽改築計画を策定するとともに、新しい学校づくり推進基本方針及び、(仮称)施設再編整備計画との整合も図っていきます。</p> <p>なお、小中一貫校の施設整備事業に伴う、新泉・和泉地区小中一貫教育校の改築については、実施設計が完了しており、建設工事契約も締結しており、事業コストの方向性については現状維持となります。</p>						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(3)

整理番号 512

施策の概要 (具体的な取組内容)	上位施策No・施策名	27	学校教育環境の整備・充実		
	施策の目標	○安全で良好な学校施設の環境が整備され、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。			
	対象計画事業名	1	区立小中学校の改築	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	
				<input type="checkbox"/> 重点事業	
	実行計画細事業に対する取組内容				
	小中一貫教育校設置協議会で検討した基本計画を踏まえ基本設計を基に実施計画を行ないました。				
特記事項					